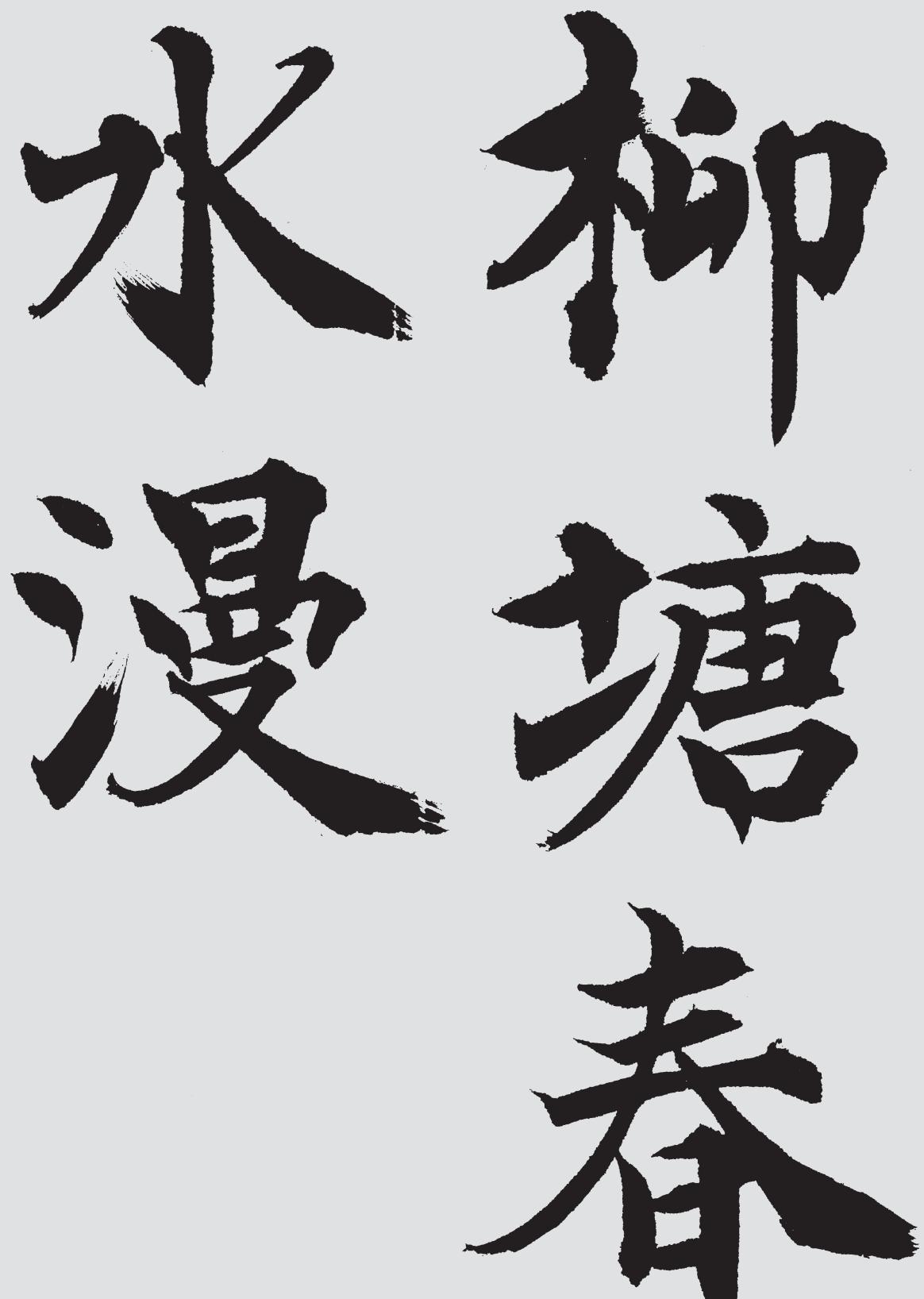


参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

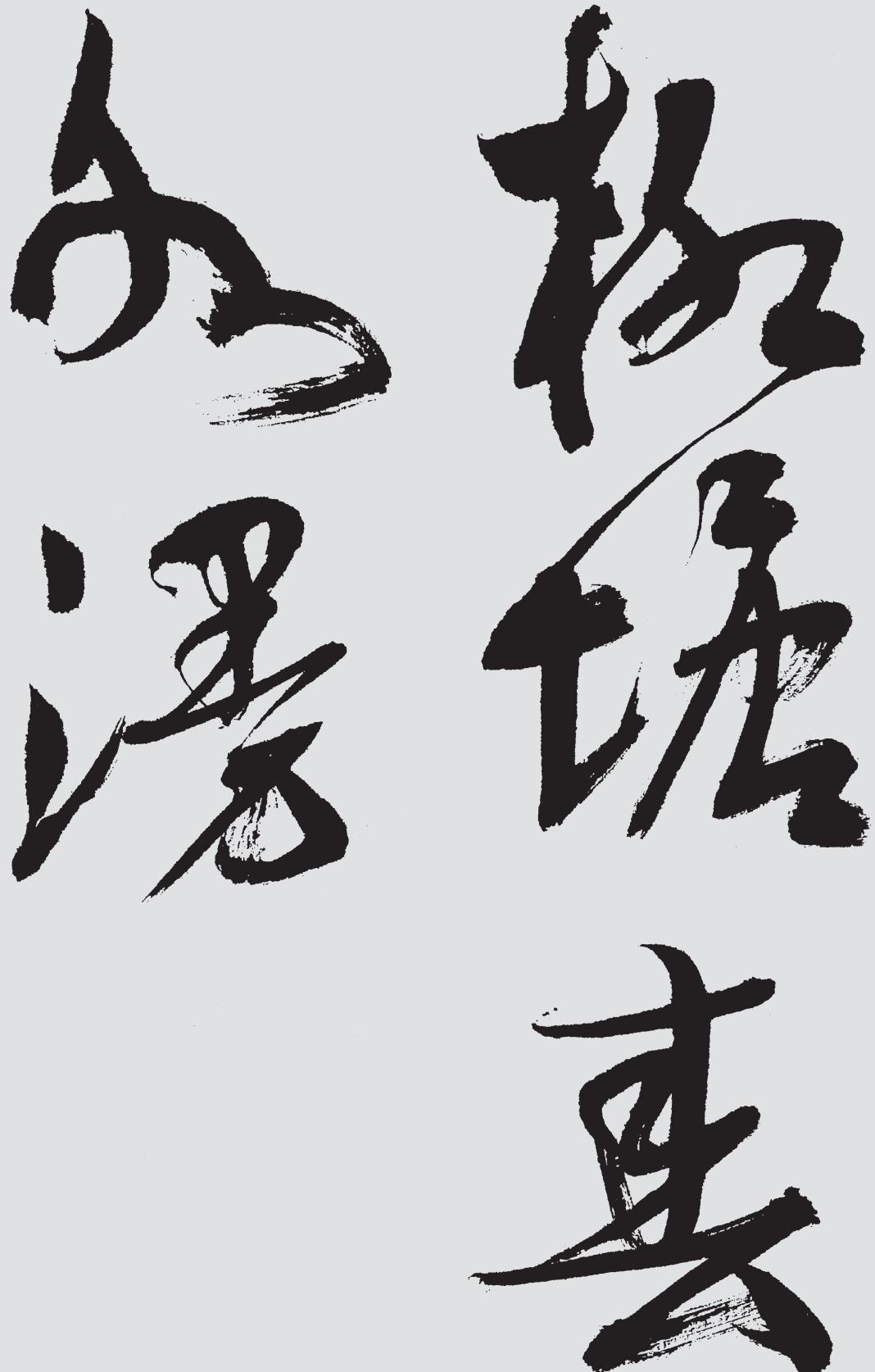


りゅうとうしゅんすいとお
柳塘春水漫し

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



高 木 聖 雨 先 生

条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）

峻業遐昭遂簡宸衷乃紓
天縱追赴京邑止大
遐宣導羣生於十地坐而
真教難仰莫能一

道因法師碑（唐・歐陽通）

峻業遐昭遂簡宸衷乃紓天縱追赴京邑止大

集字聖教序（東晉・王羲之）

遐宣導羣生於十地坐而
真教難仰莫能一

浮乘清鄉先生



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（6月10日締切）

半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）

従政清擬夷



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

其の政に従うに及んでは清は夷斎に擬こ

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(6月10日締切)

半紙規定(二)

清書の提出は
〔初段以上〕 楷書か隸書

〔二級以下〕 楷書

維れ貞觀六年孟夏の月、

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

六年孟夏之月



〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(6月10日締切)

条幅参考手册

春至人偏去春歸人未歸可憐雙燕子空逐落花飛

久保田 悠山先生書

春至人偏去 春歸人未歸 可憐雙燕子 空逐落花飛

中村草苑先生

春至人偏去 春歸人未歸 可憐雙燕子 空逐落花飛

河豚當是時貴不數魚鰻
河豚當是時貴不數魚鰻

春洲生荻芽 春岸飛楊花 河豚當是時 貴不數魚鰻

久保田 悠山先生

条幅参考本

故郷を峰の霞は隔つれど眺むる空は同じ雲居か
ふるきこ
故郷を峰の霞は隔つれど眺むる空は同じ雲居か

故郷を峰の霞は隔つれど眺むる空
は同じ雲居か
旅の宿が遠く物語り忘れてや

空庭清晝永 花落見春暮 誰念未歸人 草色江南路

大井岳陵先生

空庭清晝永 花落見春暮 誰念未歸人 草色江南路
南暉書

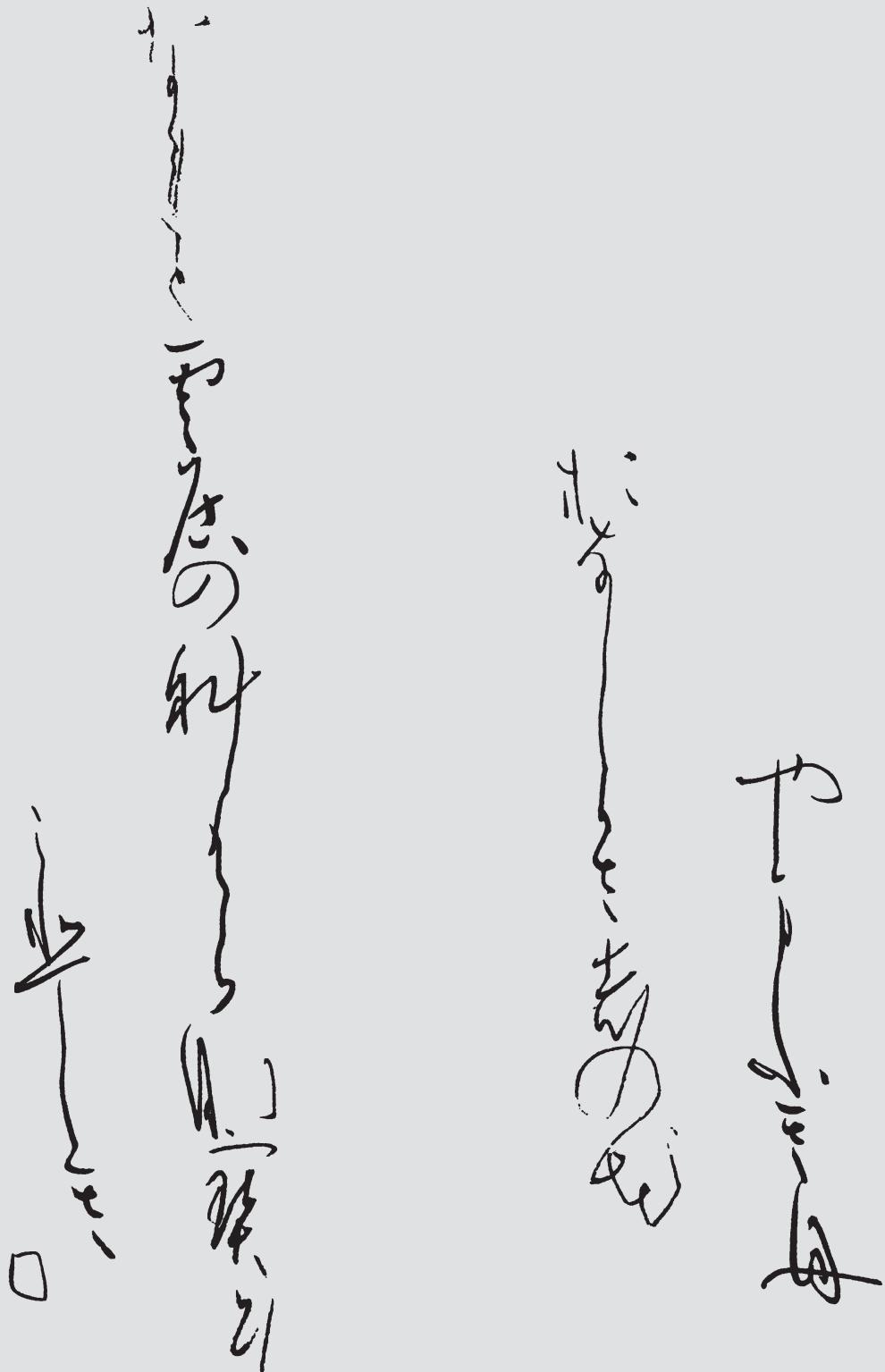
渡邊南暉先生

半紙かな（初段以上）

山吹 もおなじかざしの花なれどくもるの桜なほぞ恋しき
やまぶき もおなじかざしの花なれどくもるのさくなほぞ恋しき
やまぶき もおなじかざしの花なれどくもるのさくなほぞ恋しき
（藤原惟信）

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由



浮 乘 清 鄉 先 生

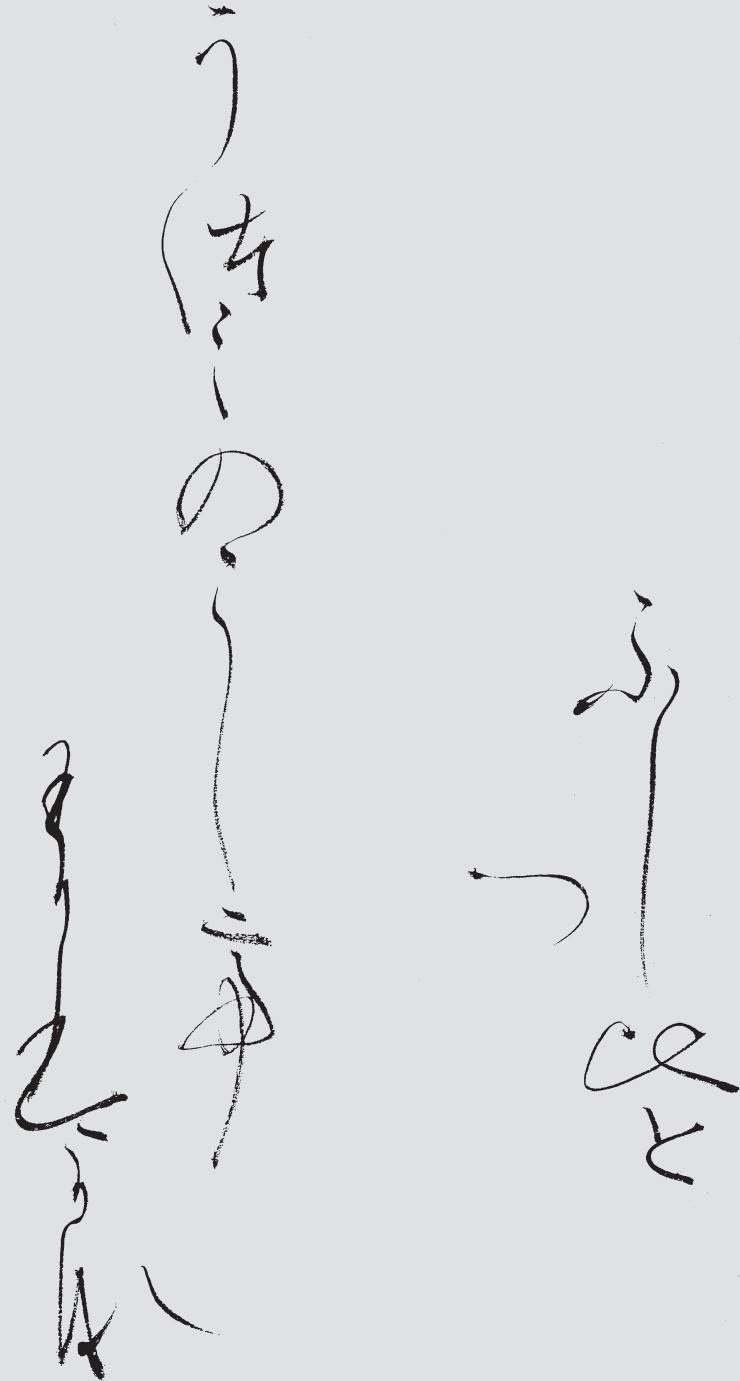
(6月10日締切)

半紙かな（1級～8級）

ふ
じ
ひ
ひとつうづ
み
のこ
して
わ
か
ば
か
な
(与謝蕪村)

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。



若月久美子先生

(6月10日締切)

実用文（準三段以上）

塙 田 悠 碩 先 生

新緑のカラマツ林のすこそばから
そろりたつ穂高連峰 山に登る
との出来を、私にも、この眺めは
息をのむよろに迫そくる梓川の
流れが切った流れに心が洗われる

支那名

あ

姓号

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

支部名 段、級 姓 号

あたゝかまゝ光はあれど野に満つる
香も知らず淺くのみ春は霞みて
麦の色わづかに青し旅人の群はい
くつか島津の道を急ぎぬ

渡邊南嶂先生

島崎藤村詩『小諸なる古城のほとり』より

（6月10日締切）

字

壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛
壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛
壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛
壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛
壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛
壺 梅 馥 郁 晴 嵌 粉 黛

支 部

段級

姓

号

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

名前は必ず楷書
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

晴 せい 壺 こ

裳 しょう 梅 ばい

つぼにいけた梅。
晴れ着のこと。

粉 ふん 黛 たい
化粧をする。

硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

風薫る五月。初夏、さわやかな風が
吹くことを風薫ると言います。

薫る、とは香るの意。いい匂いがする
といつてます。さわやかな風の香りは

新緑の匂いでしょつか。

支部名

段

姓号

青 柳 江 雲 先 生

(6月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

爽やかな五月、青葉のみずみずしい
色は、目の疲れを癒してくれる。

本院定型用紙・たて半分に書く

齋 藤 翡 流 先 生

硬筆（1級～3級）

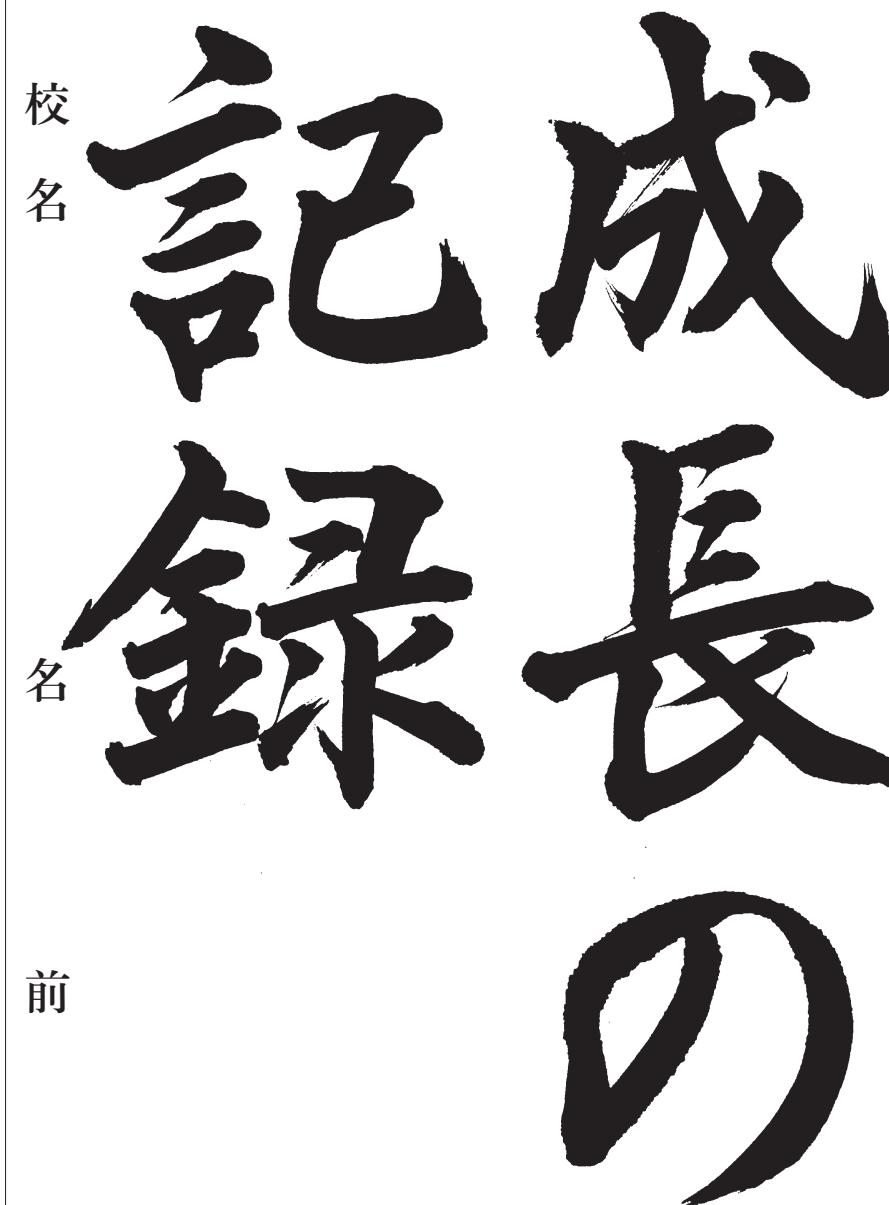
爽やかな五月、青葉のみずみずしい
色は、目の疲れを癒してくる。
支部名 級 姓 号

齋 藤 翡 流 先 生

中2用



中3用

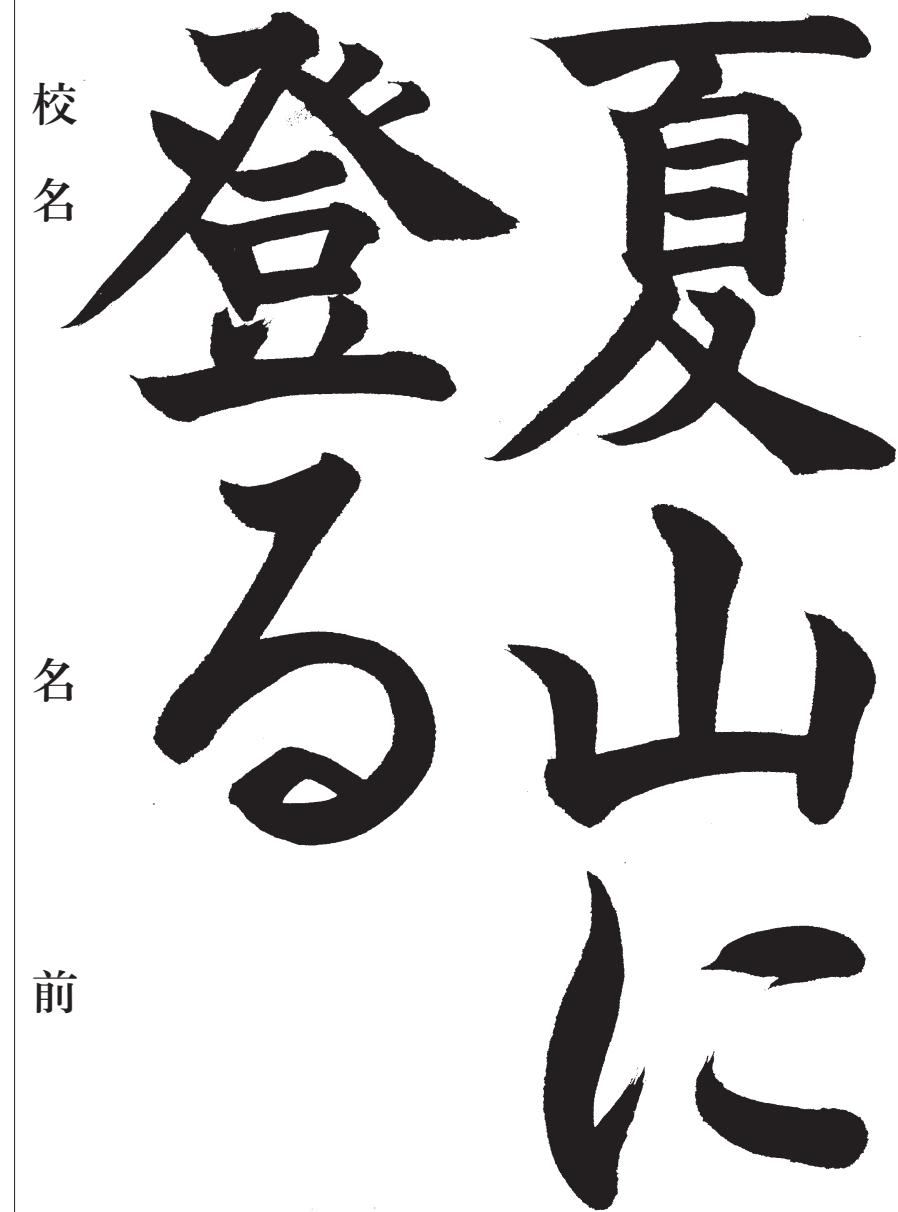


学生書道コンクール課題（6月10日〆切）

小6用



中1用



小4用

校名

大越三宗先生
校名 前田吉戸

小5用

校

名

名

前

大越三宗先生
校名 前田吉戸
空氣と

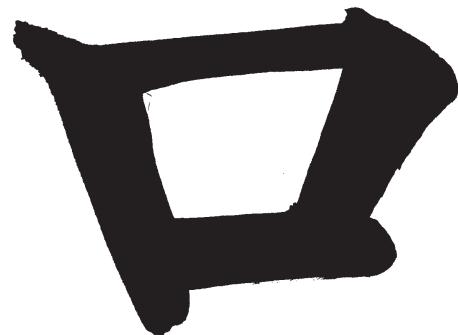
小2用

校名



名

前



鈴木翡翠先生

小3用

校名



名

前



中 1

紙の資源である森林は、
地球上とて宝です。

中 2

他人の批判より、
反省に心を向けよう。

中 3

短歌と俳句は我が國
特に発展したものだ。

中 1～中 3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

校名

名

前

小1・幼年

か も め、 はくちよ う、
あひる、 うぐいす。

小 2

田んぼの水にお日さま
がきらきらうつる。

小 3

きれいな花や、 うつく
しい音楽がすきです。

小 4

庭の草花が、 いっせい
にさき始めました。

小 5

広い野原を思うでん分
かけ回ってみたい。

小 6

田園の風景がみずみず
しい季節。 初夏も近い。

小1～小3

鈴木蕙翠先生

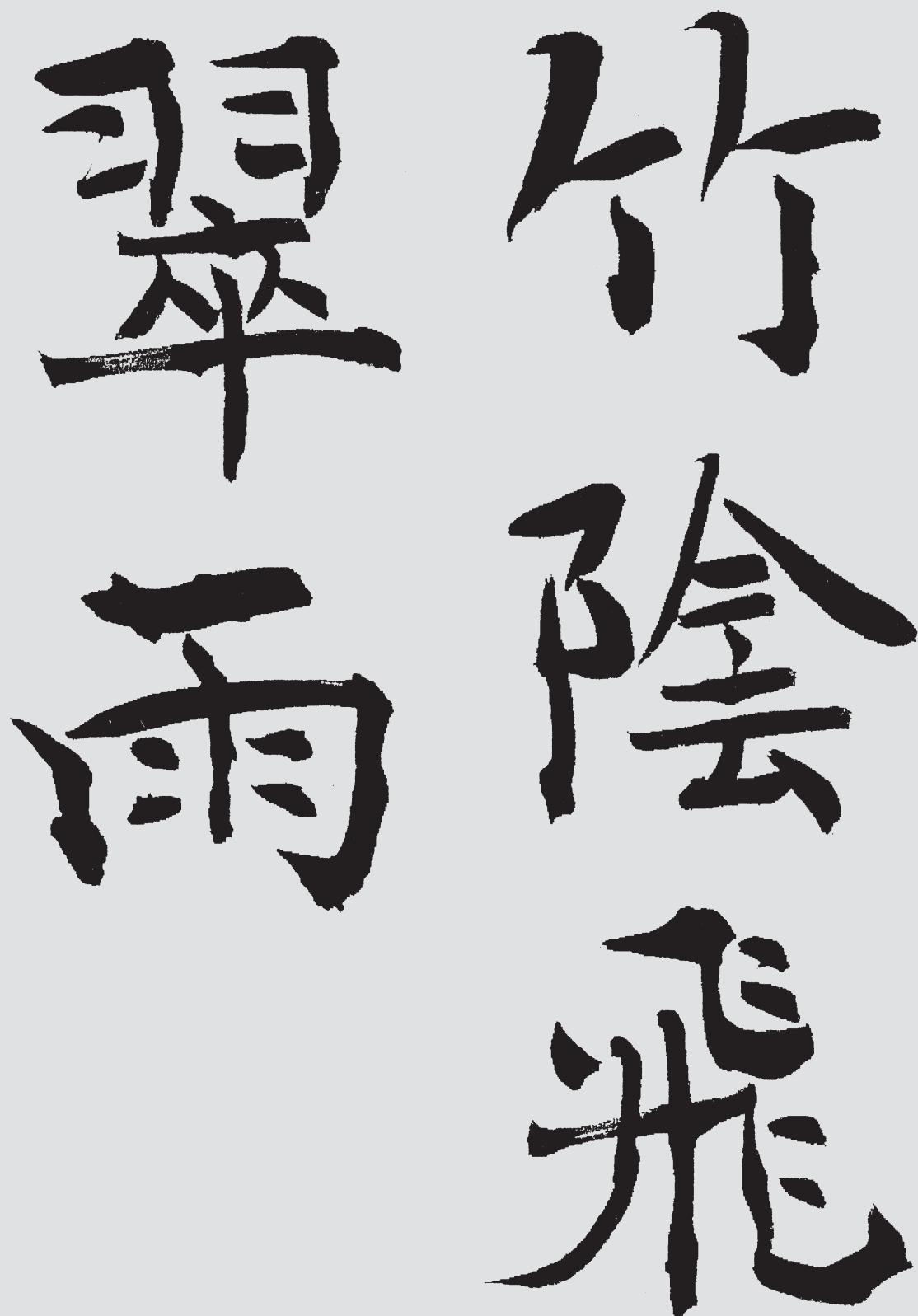
小4～小6

田辺翠鶴先生

小4～小6

参 考 手 本

*これは規定課題ではありません。



竹陰、
翠雨を飛ばす

成瀬映山先生